

米山奨学生 レクリエーション報告

米山奨学委員会

委員 和田武彦 (大阪梅田東RC)

本年度の「米山奨学生レクリエーション」は、10月16日(日)、前日来の雨がすっかり上がった秋晴れの清々しい一日、恒例により宝塚大劇場で開催され、奨学生29名、ロータリアンとそのご家族、総勢98名が参加されました。

当日は宝塚歌劇団 宙組(そらぐみ)公演、

第1部はミュージカル 「クラシコ・イタリアーノ」

第2部はショー・アトラクト 「Nice Guy! ナイスガイ」

観劇後、劇場内の別室で懇親会が開催されました。

懇親会は、中川和之地区米山委員のテンポの良い司会で進行しました。

まず、武島秀吉地区米山委員長の「米山記念奨学事業は、世界の架け橋になる人を育てると共に、奨学生、カウンセラー、各クラブの米山委員長そして地区委員と共に、ロータリー精神を学ぶ共育事業である」との開会挨拶、続いて境高彦地区代表幹事の乾杯のご発声で開宴となりました。

その後の、奨学生諸君の近況報告では「クラブの例会で、ロータリアンが東北の震災支援について熱心に討論されているのを間近に見て、ロータリアンを益々尊敬するようになった」などのロータリーの活動についての日頃の思いや、当日の歌劇について「素晴らしいショーに感動した」「宝塚歌劇は長年の憧れ」「自分の道を諦めずに進むミュージカルの主人公の生き方を見習いたい」などの感想などを語ってくれました。



関西学友会の朴日代表からは、学友会活動へ積極的に参加して欲しいと語り掛けての挨拶をされました。

そして、当日の特別イベント元宝塚歌劇の大スター 但馬久美さんのユーモアをまじえての海外公演のご苦労話と素晴らしい歌を堪能しました。但馬さんの歌を間近に聞けるなんて、宝塚ファンが聞いたら泣いて悔しがるハプニングです。

境高彦地区代表幹事の講評では、奨学生の皆さんの日本語の上達に感動したとの、お褒めの言葉を戴きました。

最後に、田中真人地区米山副委員長が「今回の脚本家は、『クラシコ・イタリアーノ』で、場面場面に於ける人との出会いを通じて成長していく様を表現していました。私たちは米山奨学事業という出会いを通してお互いを理解し、また、お互いが感謝できる存在でありましょう」との開会挨拶で楽しい一日はお開きとなりました。

